

# JACDS だより

一般社団法人  
日本チェーンドラッグストア協会

JACDS はセルフケア・セルフメディケーションの推進を目指しています

新たに厚生労働大臣となられた福岡資麿参議院議員に濫用の恐れのある医薬品に関する取り組み表明をするとともに、インターネット販売との整合性として、双方向性、同時性の確保を要請しました。JACDS並びにJACDSの要望も含まれた要望書を提出した公明党厚生労働部会の活動をご紹介します。

## ■福岡厚労大臣を表敬訪問！塚本会長、根津副会長

日時：2025年1月21日（火）18時10分～18時25分

場所：厚生労働大臣室

訪問者：JACDS 塚本厚志会長 JACDS 根津副会長

応対者：福岡資麿 厚生労働大臣

### 【JACDS から福岡厚労大臣にお伝えした主な内容】

- ・制度部会のとりのまとめ内容に沿って、若年層のオーバードーズ防止に努めます
- ・業界のガイドライン作成を厚生労働省とともに完成させていきます
- ・地域住民が健康維持・増進に資するセルフケア・セルフメディケーションを生活に取り入れ、活かすことができるような環境整備と、薬剤師等の専門家の活躍の場を広げていきます
- ・販売のあり方に議論を重ねている濫用の恐れのある医薬品などがテキストで買える環境というものは如何なものでしょうか？

福岡厚労大臣からは、慎重に検討を進めてまいります との回答をいただきました。



福岡大臣に説明する塚本会長、根津副会長



向かって右が塚本会長、中央に福岡大臣、一番左が根津副会長

**■福岡厚労大臣、鰐淵厚労副大臣に要望書を提出！公明党厚生労働部会（部会長：濱地雅一衆議院議員）**

月日：2025年1月22日（水）

場所：厚生労働大臣室

訪問者：濱地衆議院議員を含む9名の公明党議員

応対者：福岡資麿 厚生労働大臣 鰐淵洋子 厚労副大臣

**【公明党厚労部会が要請した内容要約】** ※JACDSの要望内容が含まれた内容

1. 医薬品の販売時の対策に留まらず、若者の居場所づくり等の背景についても政府全体として引き続き取り組むべき。
2. 濫用の危険性についての正確な情報の普及、啓発、相談体制の充実強化を図るべき。
3. 薬剤師等の専門家とのコミュニケーションはインターネット販売においても双方向性かつ同時性が確保できる対策が確実にできるよう改正薬事法で義務付けるべき。
4. 濫用の実態把握、販売規制の効果等について随時検証すべき。また、濫用防止対策と国民の医薬品のアクセスの調和に配慮する観点から、客観的かつ十分な情報に基づく規制の必要性の根拠を示し、より効果的な対策を実施すべき。



左から、竹谷とし子参議院議員、河野義博参議院議員、高橋次郎参議院議員、秋野公造参議院議員（厚労部会長代理）、濱地雅一衆議院議員（厚労部会長）、福岡大臣、鰐淵副大臣、佐藤英道衆議院議員、沼崎満子衆議院議員、若松謙維参議院議員